

考え、話し、**変わる日本へ。**  
だれひとり**取り残さない**

立憲民主党  
埼玉県第1区総支部長  
衆議院議員

**たけまさ 公一**



## 臨時国会の報告とともに新年の決意

2024年(令和6)年は、7年ぶりに国会に戻りました。そして「与党過半数割れ」の臨時国会に臨みました。

2025(令和7)年は、さいたま市長選挙、参議院議員選挙も控え、統一地方選挙も折り返しを迎えます。地域に寄り添いながら、国政の諸課題に取り組みます。特に、衆議院議員選挙で掲げた物価高騰対策をはじめ9つの課題解決に臨みます。

なお、公職選挙法に基づき新年のごあいさつ状は送付できませんのでご了解ください。



### 補正予算増額修正と政治改革関連法可決

12月17日令和6年度補正予算が可決成立しました。立憲民主党の求めた能登半島対策の1000億円増額が実現しました。政府提出予算案が、野党のもとめに応じて修正されたのは28年ぶりの事です。

また、12月24日、政治改革関連3法案が可決成立しました。特に、立憲民主党はじめ野党7党が提出した政党の「政策活動費」を廃止する法案が成立した理由は「与党過半数割れ」を導いた国民の皆様の後押しがあったと考えます。

特に、自民党が抜け穴ともいえるべき「公開方法工夫支出」を残せませんでした。なお、企業団体献金廃止については3月末までに結論を得ることも与野党は合意しました。

12月19日の衆議院憲法審査会でも、企業団体献金廃止が憲法に抵触しないではないかと質しています。

### 7年ぶりの国会の報告(11月28日~12月24日) 国会における武正公一の委員会

✓ **憲法審査会** 衆議院憲法審査会長は枝野幸男衆議院議員、自民党筆頭幹事は船田元衆議院議員、私の3人で、憲法審査会幹事会をリードします。これも、30年ぶりの「与党過半数割れ」により実現したことです。

衆議院憲法審査会筆頭幹事として、12月19日の憲法審査会に臨みました。衆議院法制局からこれまでの憲法論議のおさらいを説明してもらい、各党から「憲法審査会の進め方」について意見表明、その後各党から質疑となりました。立憲民主党からは、私が意見表明を行い、特に、**憲法改正国民投票の改正について最優先で取り組むよう求めました。**緊急事態対応、企業団体献金禁止について等議論が行われました。

✓ **外務委員会** たけまさ公一は、立憲民主党次の内閣では「外務・拉致担当大臣」となりました。この国会でも、拉致被害者を取り戻す全国集会はじめ、各集会に出席しました。また、12月19日には7年ぶりの質問に外務大臣の所信表明に対して行いました。

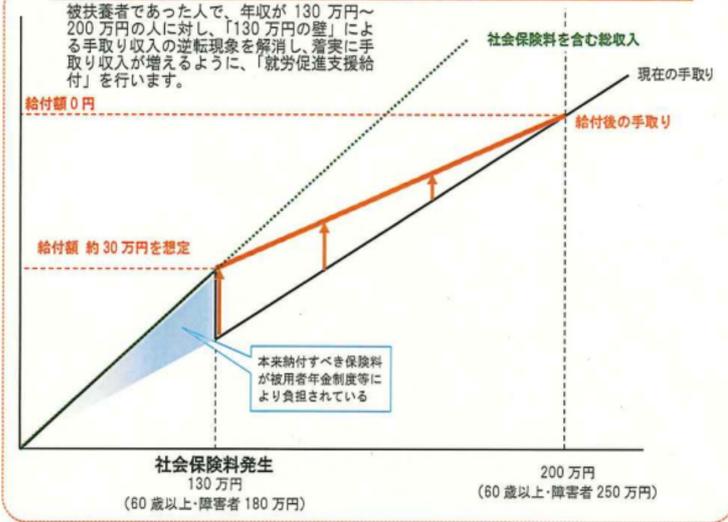
ノーベル平和賞日本被団協受賞・拉致問題・外務省予算説明・自由で開かれたインド太平洋・中国日本人学校事件について取り上げました。

日本の外交安全保障を取り巻く世界の情勢が激動の中、外務省を中心に「国民に分かりやすい」説明をいかに行うかが問われます。

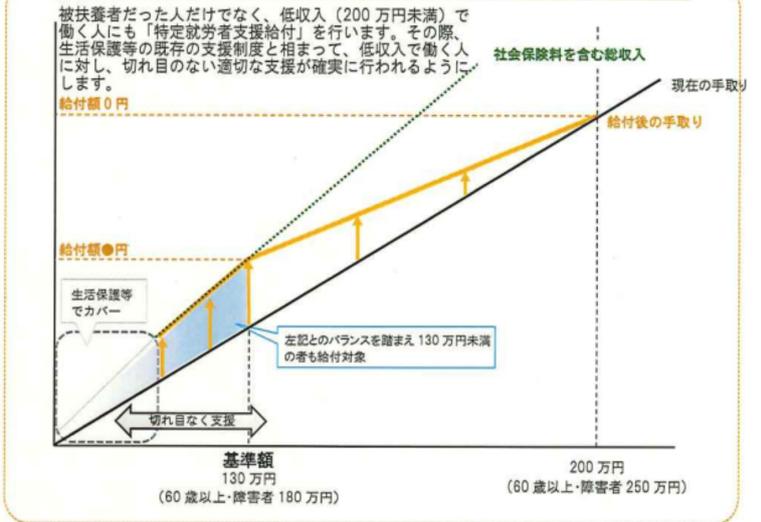
✓ **総務委員会** 地方行財政、通信、放送、消防などを扱う委員会にも所属しました。臨時国会では質疑には立ちませんでした。衆議院議員選挙で掲げた「物価高騰対策」「教育の無償化」に地方自治体・地方議会とともに臨んでいきます。

# 130万円の壁（130万円から200万円まで社会保険料負担軽減）

## 就労促進支援給付【「年収の壁」対策(3号→1号のケース等)】



## 特定就労者支援給付【低所得就労者対策(1号のケース等)】



✓ **103万円の壁** 与党過半数割れの中、自民党公明党が国民民主党と協議して「所得税基礎控除の額を103万円から引き上げる」ことが進められています。立憲民主党は、**30年間引き上げられなかった基礎控除の引き上げは賛成で、是非178万円を目指して実現してほしい**と思います。ただし、財源に対しては地方自治体から税収減の懸念が出されていますので、財政全体での状況の説明を3党から得たいと思います。

✓ **130万円の壁** 立憲民主党は、年収130万円を超えると社会保険料負担が生まれる「130万円の壁」

対策の法案を臨時国会に提出し、議論を進めました。130万円から200万円にいたるまで、社会保険料の補助を行う内容で、その財源7800億円としています。将来的には、社会保険料加入者が増えるのでこの財源も社会保険料と税金全体でみると賸えると考えます。

✓ **税制議論** 立憲民主党の次の内閣並びに税制調査会などで、私からは衆議院議員選挙で掲げた「社会保障と税の一体改革第2弾(消費税の議論も含め)」の必要性に触れました。国民の皆さんのご負担は、「税と社会保険料」に区別はなく、合わせての議論が必要と考えるからです。

### 立憲民主党 埼玉県第1区メンバー



武田 和浩  
見沼区 区議



野本 怜子  
浦和区 区議



添野 ふみ子  
浦和区 市議



三神 尊志  
見沼区 市議



佐々木 郷美  
見沼区 市議



堤 日出喜  
緑区 市議

### たけまさ(武正)公一 衆議院議員



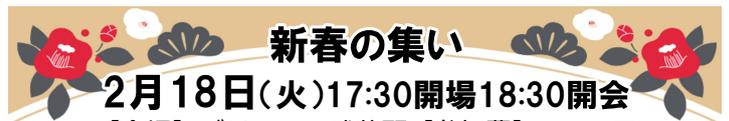
1961年生まれ。うし年。B型。浦和区大東3丁目在住。妻と一女一男。木崎小・木崎中・浦和高校・慶應義塾大学法学部政治学科卒業。松下政経塾出身。1995年埼玉県議初当選。2000年衆議院議員初当選、以後、外務・財務副大臣・衆院憲法審査会会長代理を歴任。



### 第234回たけまさ公一と語る会

2月15日(土)14:00～15:30

【会場】埼玉会館3B会議室【参加費】無料  
どなたでもご参加いただけます。



### 新春の集い

2月18日(火)17:30開場18:30開会

【会場】プリランテ武蔵野【参加費】6,000円  
お申込み方法など詳細は下記たけまさ公式サイトにてご案内中。

### 立憲民主党埼玉県第1区総支部 衆議院議員たけまさ公一事務所

〒330-0074  
さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2F  
TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846 voice@takemasa-k.jp

たけまさの政策や実績、最新のイベント案内、たけまさ日記など、様々な情報を発信中！**たけまさ**で検索！

takemasa-k.jp

たけまさ公一公式サイト

